



2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月12日

上場会社名 ネオス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3627 URL http://www.neoscorp.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 昌史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 黒尾 哲雄 TEL (03)5209-1590
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始 ー
 予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万未満切捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	2,061	16.4	124	12.9	130	27.5	106	△15.7
2019年2月期第1四半期	1,770	30.6	110	198.4	102	487.2	126	695.7

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 91百万円 (△51.2%) 2019年2月期第1四半期 186百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	9.53	9.49
2019年2月期第1四半期	13.33	13.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第1四半期	6,119	4,381	71.2	379.27
2019年2月期	5,051	3,364	66.3	319.39

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 4,355百万円 2019年2月期 3,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	8,902～10,000	0.0～12.3	504～800	0.0～58.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

現在、モバイル、インターネット業界は、非常に速いスピードで構造変化が進行しつつあり、短期的な業績動向については変動要素が多いため、当社では、年間ベースでの業績管理に重点をおいた経営管理を強化しています。これらを踏まえ、現在、当社グループの業績予想については、連結業績に関する年間業績の開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期1Q	11,483,500株	2019年2月期	10,483,500株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	22株	2019年2月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期1Q	11,169,423株	2019年2月期1Q	9,469,608株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自2019年3月1日至2019年5月31日）における日本経済は、1月～3月期のGDPが0.6%増（年率2.2%増）とプラス成長を維持したものの、米中の貿易摩擦や中国経済の成長鈍化などの要因から景観は悪化してきており、先行きの不透明感が拭えない状況にあります。

このような経済環境においても、IoT（Internet of Things）の進展は目覚ましく、産業界にとどまらず生活に身近な領域にまで浸透してきており、今後本格的な市場の拡大が期待されております。また、キャッシュレス化に代表されるFinTech（Financial Technology）や教育でのICT活用であるEdTech（Education Technology）、さらに、AI（人工知能）やRPA（Robotic Process Automation）などの技術の利活用による働き方改革など、さまざまな領域でのデジタル化、ネットサービス化の流れは引き続きダイナミックに進行しております。

こういった流れのなか、当社グループでは今期においてもソースネクスト株式会社の音声通訳機「POCKETALK（ポケットーク）W」などのデバイス事業が好調に推移しており、今後のさらなるIoT需要の拡大に応えるために中国・深圳の工場を大幅に拡張し、生産体制の強化を図っております。ソリューション事業においては、自社のプロダクト、サービスの拡大に注力しており、AIを活用したチャットボット事業やキャッシュレス化を支援する“ValueWallet”事業の展開を強化しております。コンテンツ事業においては、キッズ、教育分野の事業が順調に拡大してきており、これまで有料コンテンツサービスなどの既存事業の減少により全体として漸減してきた売上高が、下げ止まりつつあります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,061,622千円（前年同四半期比16.4%増）、営業利益は124,727千円（前年同四半期比12.9%増）、経常利益は130,688千円（前年同四半期比27.5%増）、純利益は106,467千円（前年同四半期比15.7%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間に実施した組織改編により、ソリューション事業の一部をコンテンツ事業へ移管しており、以下の前年同四半期比については、移管後の区分に組み替えた数値で比較しております。

事業別の詳細については以下の通りです。

<ソリューション事業>

当第1四半期連結累計期間におけるソリューション事業の売上高は、871,010千円（前年同四半期比10.7%減）となりました。

ソリューション事業においては、自社のプロダクト、サービス事業の強化に注力する一方、キャリアや法人からサービスの企画、開発、運営を請け負うSI（System Integration）事業については、収益性や技術蓄積などの観点から案件の取捨選別を図っています。自社プロダクト、サービス事業においては、業務向けビジネスチャットボット『SMART Message BOT（スマートメッセージボット）』や決済サービス基盤“ValueWallet”のサービス拡張及び拡販に取り組んでおり、“ValueWallet”については、今期、新たなナショナルクライアントとして、コーナン商事株式会社の「コーナンPay」のサービスにおいて採用されました。また、開発体制強化の一環として、オフショア拠点であるNeos Vietnam International Co.,Ltdの資本及びエンジニアの増強を実施しています。

<コンテンツ事業>

当第1四半期連結累計期間におけるコンテンツ事業の売上高は、326,931千円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

コンテンツ事業においては、キッズ、教育分野に注力しており、知育アプリ『クレヨンしんちゃん お手伝い大作戦』が順調に拡大し、世界累計400万ダウンロードを達成しました。また、収益獲得の多角化に向けて新たにAmazon Appstoreへの提供を追加しました。加えて、教育現場におけるICT化の進展を見据え、株式会社内田洋行の教育用コンテンツ配信サービス「EduMall」での教育コンテンツの配信や株式会社小学館集英社プロダクションが運営する通信教育サービス「まなびwith」向けのデジタル教材開発など、教育分野でのコンテンツ展開にも着手しております。

<デバイス事業>

当第1四半期連結累計期間におけるデバイス事業の売上高は、863,681千円（前年同四半期比85.2%増）となりました。

デバイス事業においては、ソースネクスト株式会社の音声通訳機「POCKETALK（ポケットーク）W」やJapanTaxi株式会社の「決済機付き車載サイネージタブレット」など、IoTデバイスが引き続き順調に推移しております。第1四半期においては、中国・深圳にある工場が春節休業の期間が含まれるため、年間を通してみると最も生産量が減少する時期となりますが、今年度においては、この休業期間を利用し、製造フロアの移転、拡張により生産体制の強化を実施いたしました。また、あわせて自動化設備の充実や信頼性試験の拡充等を図りつつあり、生産キャパシティの拡大に加えて、より一層の生産効率アップや品質向上を推進してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,155,245	3,477,106
受取手形及び売掛金	1,129,535	853,528
商品	68,997	28,806
仕掛品	41,803	44,782
前渡金	752,559	731,630
短期貸付金	3,000	3,000
その他	110,428	158,668
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	4,261,564	5,297,517
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	55,027	53,325
器具備品(純額)	22,715	28,119
建設仮勘定	1,544	10,764
有形固定資産合計	79,287	92,209
無形固定資産		
ソフトウェア	102,396	112,098
ソフトウェア仮勘定	80,514	85,345
のれん	141,687	133,012
その他	9,925	8,964
無形固定資産合計	334,524	339,421
投資その他の資産		
投資有価証券	192,817	172,322
関係会社出資金	26,854	26,734
差入保証金	157,142	188,549
その他	36,153	39,455
貸倒引当金	△37,131	△37,131
投資その他の資産合計	375,836	389,931
固定資産合計	789,648	821,561
資産合計	5,051,212	6,119,079

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	224,447	230,338
短期借入金	93,698	115,641
1年内返済予定の長期借入金	262,944	288,000
未払法人税等	49,091	28,219
前受金	253,074	402,235
賞与引当金	200,146	56,989
工事損失引当金	10,643	—
製品保証引当金	21,245	1,047
その他	214,809	261,322
流動負債合計	1,330,100	1,383,794
固定負債		
長期借入金	292,197	294,750
繰延税金負債	23,182	16,874
資産除去債務	35,653	35,790
その他	5,417	6,347
固定負債合計	356,449	353,762
負債合計	1,686,550	1,737,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,652	2,376,544
資本剰余金	969,784	1,440,163
利益剰余金	423,646	509,147
自己株式	—	△21
株主資本合計	3,302,083	4,325,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,013	33,793
繰延ヘッジ損益	△2,491	△4,785
為替換算調整勘定	768	452
その他の包括利益累計額合計	46,290	29,460
新株予約権	8,096	10,309
非支配株主持分	8,192	15,917
純資産合計	3,364,662	4,381,521
負債純資産合計	5,051,212	6,119,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	1,770,737	2,061,622
売上原価	1,314,491	1,511,617
売上総利益	456,246	550,005
販売費及び一般管理費	345,814	425,277
営業利益	110,431	124,727
営業外収益		
為替差益	9,625	9,616
その他	940	1,118
営業外収益合計	10,565	10,734
営業外費用		
支払利息	1,384	2,414
その他	17,074	2,359
営業外費用合計	18,458	4,773
経常利益	102,539	130,688
特別利益		
新株予約権戻入益	18,645	69
段階取得に係る差益	6,175	—
特別利益合計	24,820	69
税金等調整前四半期純利益	127,359	130,758
法人税、住民税及び事業税	1,282	22,739
法人税等調整額	△172	△31
法人税等合計	1,109	22,707
四半期純利益	126,249	108,050
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,582
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,249	106,467

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	126,249	108,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,785	△14,219
繰延ヘッジ損益	20,990	△2,294
為替換算調整勘定	△1,166	△315
その他の包括利益合計	60,609	△16,829
四半期包括利益	186,859	91,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,859	89,654
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,566

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株の発行

当社は、当第1四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付第23回新株予約権(第三者割当)の全てについて権利行使があったことに伴う新株の発行により、資本金467,892千円、資本準備金467,892千円がそれぞれ増加しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。